

1996

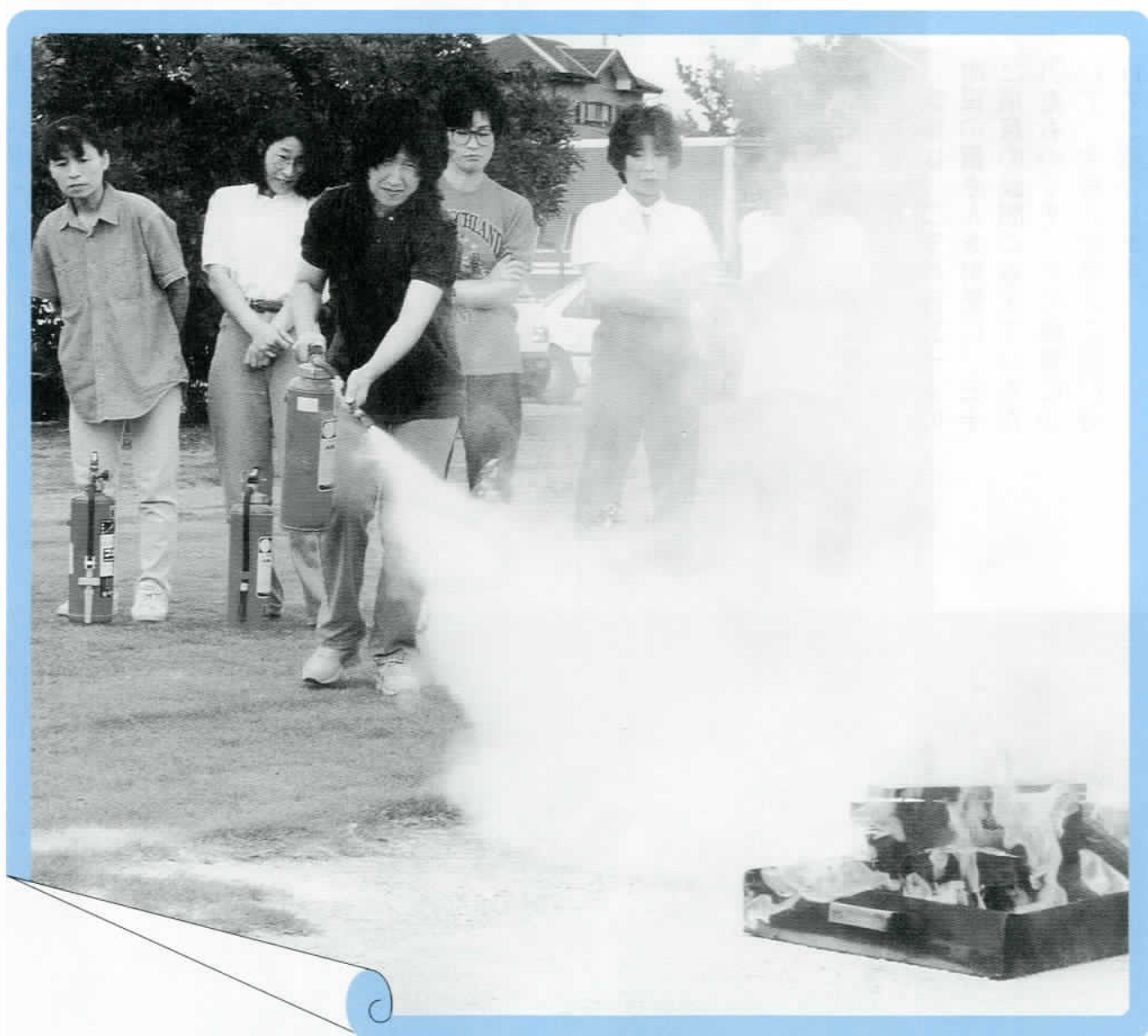
7月号



328

広報

かち



備えあれば憂いなし

—— 女性消防団の消火訓練から ——

多くが住みよいと 感じているが：

自然環境に恵まれていることなどから、多くの人が住みよいと感じているが、世代が若くなるに従って転居を望む声も少なくない……。町では、新しい総合計画策定の資料とするため、今年一月から二月にかけて「住民意識調査」を

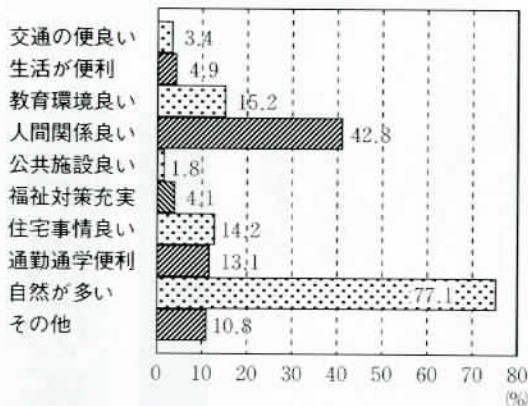
行いましたが、その結果がまとまりました。

調査は、二千八百五十人の町民の皆さんを対象に、三十二項目の設問に答えていただいたものです。その概要について、今号と次号の二回に分けてご紹介します。

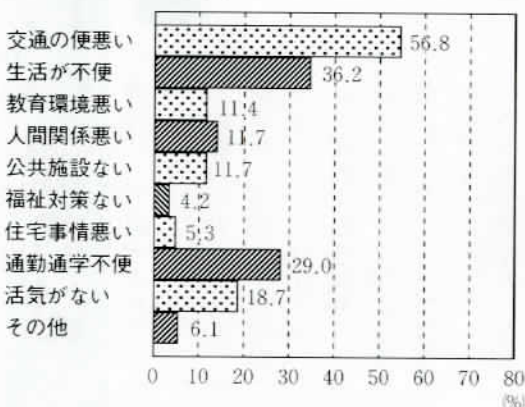


グラフー1 住み続けたい理由は、
転居したい理由は（2つ選択）

■ 住み続けたい理由



■ 転居したい理由



今の河内町は

住み心地について

「住みよい」、「まあまあ」が65%以上

まず初めに、今の河内町の住み心地について伺いました。

「住みよい」と答えた人は一九・七%、「まあまあ住みよい」と答えた人が最も多く四五・七%でした。反対に、「どちらかと言えば住みにくい」が一・二・五%、「どちらとも言えない」

が二二・一%でした。「住みよい」、「まあまあ住みよい」が六五%を超えていることから、全体として住みよいと考えられているようです。

これを、職業別、年代別などで見てみると、農業、無職（お年寄り）で七〇%から八〇%の人が「よい」と答えています。それ以外の職業では、「よい」と答えているのは六〇%程度となっています。世代別では若い人ほど、また、河内町に住んでいる期間が短い人ほど「住みにくい」と答えています。

定住意識は

自然が多く、人間関係がよい

これからも、河内町に住み続けたいですか——の質問には、五七・四%の人が「住み続けたい」、「一七・二%が「当分住んでいたい」と答え、「できれば転居」、「分からない」がそれぞれ一二・七%となっています。

住み続けたい理由としては、「自然が多い」が最も多く七七・一%、次に「人間関係がよい」が四二・八%、「教育環境がよい」が一五・二%の順となっています。

反対に、転居したい理由としては、「交通の便が悪い」がトップで五六・八%、次いで「日常生活が不便」の三六・二%、「通勤や通学に不便」が二九・〇%となっています。（グラフー二）
また、町に対する愛着については、「感じている」が六〇・四%、「感じていない」が一五・七%、「分からない」が二二・九%と多くの人が町に愛着を持っているようです。

調査の回答者は

有効回答数 二千百九十九

性別



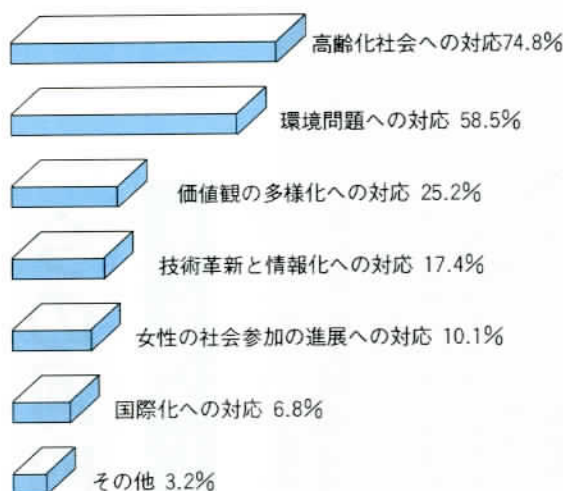
年齢別

不明65人				
60歳以上	50歳代	40歳代	30歳代	20歳代
512人	423人	534人	399人	266人

職業別

不明60人	その他	自営商業・工業	
老人学生	主婦	サラリーマン	農業
144人 261人	290人	714人	554人
			176人

グラフー2 町の課題として重要なのは（2つ選択）



町の課題は

高齢化社会と

環境問題

河内町にとって、二十一世紀に向けて何が重要だと思えますか、という問いに二つまで選んでもらったところ、「高齢化社会への対応」が一番多く七四・八%、「環境問題への対応」が五八・五%と、この二点が重要

時代の新しい流れは

課題として捉えられています。

ほかでは、「価値観の多様化と余暇の増大への対応」や「技術革新と情報化への対応」などが挙げられていますが、町における高齢化の進展や自然環境の減少（悪化）に対する危機感の強さが色濃く出ている結果となっています。

職業別で見ると、農家において「高齢化への対応」を重視する率が高く（八五・三%）、主婦では「環境問題」を重視する率が高くなっています（六五・二%）。（グラフー二）

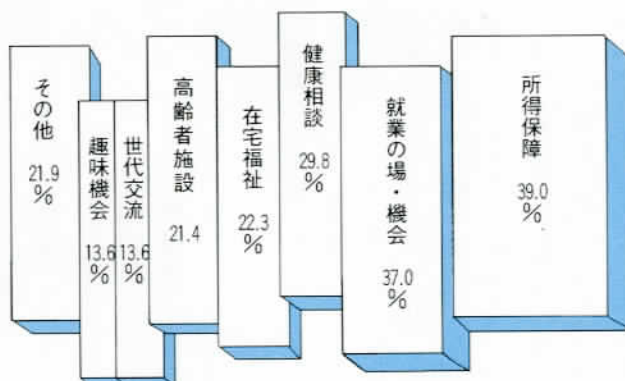
高齢化社会への対応

所得保障制度と就業機会に対する期待

会に対する期待

そこで、今後の課題として最も重要である高齢化社会への対応策として何が重要かを伺ったところ、「年金制度の充実などにより所得保障する」が三九・〇%、「お年寄りが生きがいをもって働けるような場所、機会

グラフー3 高齢化社会への対応策として重要なのは（2つ選択）



をつくる」が三七・〇%となっており、所得保障制度の充実と就業の機会に対する期待が持たれています。

次いで、「健康相談や医療施設の充実」、「在宅福祉サービスの充実」、「高齢者向け施設の充実」と健康づくりや福祉サービスに対する施策が続いています。これを職業別に見ると、定年のない農家では、就業の場所・機会よりも所得保障を重視し、それ以外の職業では、反対の結

私の意見

自由意見欄にも、たくさんのお意見や提案が寄せられました。その一部をご紹介します。

福祉の最優先を

これからを担う子どもたちや、これまで苦労してくださったお年寄り、いろいろな障害を持った方々の福祉を最優先させた町政に期待します。

商業施設は

町には、小さなストアかコンビニぐらいしかないし、外食するにも限られているなど、楽しめる場所がない。大型スーパーなどがあれば、とても便利で住みやすくなり、人口も増えていくと思います。

医療・保健について

医療といえば、千葉県か阿見、土浦などに行かなければならない。しかし、どこに行

表-1

環境・資源問題への対応策は（2つ選択）

対 応 策	%
自然環境を保全する	42.2
ごみの減量・分別収集	39.7
河川の水質改善	39.3
住民意識の高揚	20.8
余熱利用の推進	17.8
公害対策の強化	13.2
太陽熱の利用	9.8
その他	14.5

表-2

価値観の多様化や余暇への対応策は（2つ選択）

対 応 策	%
町民の交流機会を増やす	48.6
ボランティア活動の活性化	35.6
文化・芸術活動の振興	33.3
コミュニティ活動の活性化	26.8
スポーツ活動の振興	23.6
特に必要ない	11.9
国際交流の機会を増やす	11.2
その他	2.3

果になっています。また、世代別では、五十代、六十代以上の人は高齢者施設を重視し、四十代以下では在宅福祉をより重視しているようです。（グラフ一三）

環境・資源問題

自然の減少（破壊）を心配する声が多い

次に、身近な環境問題や資源問題への対応策について伺いました。

町内の自然の減少を心配して、「自然環境を積極的に保全する」が四二・二％と最も多く、次いで「ごみの減量化や分別収集の徹底」が三九・七％、「河川の水質の改善を行う」が三九・三％など、身近な問題が挙げられています。また、各種活動による住民意識の高揚や、公害対策強化の要望なども見られます。

また、居住期間別で見ると、自然がもっと美しかったころを知っている居住歴の長い人ほど、河川の水質の改善（四一・九％）を重視する率が高くなっています。（表一）



価値観の多様化・余暇対策

身近な活動の充実に

期待

新しい居住者が増えていることもあって、「町民の交流の機会を増やす」が四八・六％と最も多く期待されています。また、「ボランティア活動の活性化」が三五・六％や「コミュニティ活動の活性化」二六・八％など、身近なところでの活動の充実に挙げた人が多いようです。

さらに、学習意欲を高める「文化・芸術活動の振興」の三三・三％や、健康づくりやふれあいのための「スポーツ活動の振興」の二六・三％も期待されているようです。（表二）

くにしても、交通機関がとて不便です。

また、私たち老人にとって、保健・福祉共に充実していると思います。健康相談には若い人はほとんど来ていません。だれでも参加できるように、もっと良いと思います。

これからの農業環境は

河内には水に囲まれた土地柄であり、新利根川など農業用水の汚濁は、身近で大きな環境問題です。新利根川には、よそからも美しい自然と憩いを求めて訪れます。それらの人に、有為な場所を提供することは、町の発展に無関係ではないはずです。

河内町にとって大切なのは、環境保全型農業を推進し、農業と住宅地との調和のとれた町づくりだと思います。

工業の誘致は

町を豊かにするのは、工業の誘致だと思います。

しかし、そのために緑がなくなったり、住宅を建てたりして田園風景が変わっていくのも素朴さがなくなるようでは残念です。

6月定例会

平成八年第二回町議会は、六月十七日から二十一日まで開かれ、町制施行に伴い町が加入している一部事務組合の規約変更の専決処分、報告や、利根・河内塵芥処理組合の解散、および、竜ヶ崎地方塵芥処理組合への加入、八年度一般会計補正予算などの議案が審議されました。なお、一般質問の概要については、次号でお知らせします。



報告

税条例の一部改正を専決処分

地方税法の一部を改正する法律の公布に伴い、町税条例の一部を改正し、その専決処分を行いました。

町が加入している一部事務組合の規約変更を専決処分

町制施行に伴い、河内町が加入している稲敷地方広域市町村圏事務組合、竜ヶ崎衛生組合、稲北地方病舎組合の規約の変更について専決処分を

行いました。

七年度繰越明許費繰越計算書を報告

七年度一般会計の「要覧作成委託料」と「水と緑のふれあい公園整備事業」について、繰越明許費繰越計算書の報告を行いました。

議案

特別職の報酬額を改正

非常勤特別職の年額報酬、月額報酬を改定するため、特別職の職員の給与などを定め

塵芥処理組合の解散と加入

広域化による効率的な処理を行うため、利根・河内塵芥処理組合を解散し、八月一日から竜ヶ崎地方塵芥処理組合に加入することにしました。

八年度各会計予算を補正

平成八年度一般会計は、歳入歳出予算に、それぞれ一億五千二百八十七万五千円を追加補正し、歳入歳出予算の総額を四十四億三千六百九十七万五千円としました。歳入歳出の主なものは、次のとおり

です。

歳入

・前年度繰越金 七千八百七十五千円

・諸収入 七千五百六万八千円(利根・河内塵芥処理組合解散に伴う財産処分として)

歳出

・総務費 七千二百九十八万五千円

・民生費 四百二十三万円

・衛生費 六千八百三万円

・土木費 九百六万四千円

・教育費 三百二十二万四千円

また、下水道事業特別会計は、歳入歳出予算の総額に、二十万を追加補正しました。

そのほか可決された議案

■河内町役場の位置を定める条例

■河内町公告式条例の一部を改正する条例

■河内町開発促進委員会設置条例等を廃止する条例

■河内町立生板小学校プール改築工事請負契約について

■河内町立金江津小学校空気調和設備機能回復工事請負契約について

町の歴史 あれこれ

町史編さんだより(18)

きょくりゅうしゃ か せん

曲流舎可川

—町史編さん囑託員 鈴木 久—

一枚の俳号披露句会の案内

大野宗太郎家文書に一枚の木版刷りの句会案内のチラシがあります。表題に「扶桑庵 弗児門人曲流舎可川開筵披露」とあり、内容は「西二月十六日当所於万年山俳号披露興行仕候間、不論晴雨前日より御來臨之程偏ニ奉希上候」というもので、句題に桜、雲雀、霞、春雨、帰雁などがあげられています。また大補（後援）に龍ヶ崎の杉野翠兄俳系の筑波庵連や香取郡岩部村（現栗源町）の茂蘭俳系の木啄庵連などの名が記されています。芭蕉門下大島蓼太につながる夫桑庵弗児門人の金江津連

を率い海保可川が曲流舎として大々的に万年山大洞院で俳号披露の句会を催したのです。

金江津の俳諧の盛況

天保十四年（一八四三）発行の『下総諸家小伝一集』には下総国の文人百名が紹介されていますが、俳諧五十五名のうちに金江津の海保可川、根本一川、橋爪南涯、細谷文人、山倉一舟、片巻の伊藤李舟、篠田鶯雪の名が見えます。

一茶との親交で有名な田川の一白の名が見えないのは、すでにその後の時代になっていたからでしょう。それにしても金江津地方の俳諧の盛況が知られます。

里中の首唱海保可川

そのなかで可川は「通称ハ平兵衛、涼窓と号す、曲流舎

はその別号、意を俳諧に委ぬ、里中の首唱なり」として次の二句が紹介されています。

子の花

冬近き山白雲のはなれけり

ところでチラシにあった俳号披露の酉年はいつかということですが、可川は開筵の賀集『由婦花』を嘉永二酉年（一八四九）に出版している

ので、この年とすることもできますが、さきほどの天保年間の冊子すでに曲流舎の名があり、天保八年（一八三七）とも考えられます。

先日、海保章さん宅を訪問し、可川に関する資料を見せただきました。海保家の屋号は九郎左衛門、可川は俗名を仙治、元治元年（一八六

四）十月、七十二歳で亡くなっています。戒名は通叟宗普居士、墓碑は上金江津にあり、墓地の入口右手には慶応元年に門人達が建てた句碑があります。そこには可川の辞世の句でしょうか、

はつしもや草の青ミも根にもとる

という句が、そして裏面には「常に俳諧を好み、家事を嗣子榮輔に委ね、花鳥風月を娛しみ、従ひ遊ぶ者多し」（原文は漢文）と刻まれています。

文久二年（一八六二）刊行の『俳諧画像集』に載っている可川は茶を嗜む飄然とした風流人に描かれ、そこには見るものに移る人気や龍田

比め

という句が掲げられています。

大洞院境内の曲流舎句碑

曲流舎は海保家先代の和氏



▲ 大洞院山門と曲流舎句碑

の十五世まで続きました。大洞院境内に立ち並ぶ句碑に曲流舎の往時をしのぶことができます。

しくるるや稲つまからの空うつり

世にさわるもの音もなし蓮の露

涼風や気かるに帰元の道

出残婆裾風寒し春の月

松風にむかひてさますや花の酔

これかきりおかぬしるしに忘れ霜

捨てから世は暮しよし扇かな

わか家の雨もり恥しす花の主

草の葉になじむ螢の光かな

入月庵 平雪

耕文舎 可融

扶桑庵 可逸

煮石

可融

可融

可融

可融

可融

ぼくの わたしの

夢

[河内第一幼稚園]



いじま けんくん
飯島 啓之くん
警察官



のぐち けんくん
野口 慶一くん
歯医者さん



たなか みずきちゃん
田中 瑞姫ちゃん
飼育係



くりやま みきちゃん
栗山 早稀ちゃん
ピアノの先生



いばらき あきちゃん
茨城 綾ちゃん
ケーキ屋さん



かわさし なおきくん
川島 尚也くん
サッカー選手



おのの みきちゃん
大野 美紀ちゃん
ケーキ屋さん



たけだ ゆうきくん
武藤 優輝くん
お店屋さん



すずき りこちゃん
鈴木絵梨子ちゃん
お花屋さん



おぎわら みくちゃん
荻原 未来ちゃん
看護婦さん



あきやま たかひろくん
秋山 拓也くん
サッカー選手



ほすかわけ るみちゃん
蓮沼 朋美ちゃん
お花屋さん

ふるさとの思い出

ば、窓際に化粧水を置いておく、凍ってしまいます。そんな寒さの中を、高校のころ、駅まで自転車通勤してました。

山が近くにあるといっても、私は、登山は好きじゃないんです。ただ、一度だけ常念岳に登ったことがあります。中学一年のとき、学校の行事で登ったんですが、途中から、



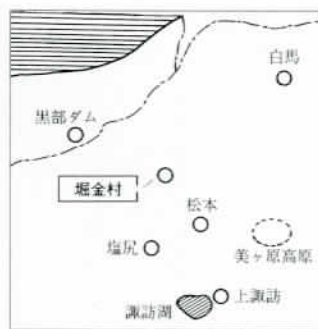
周藤 三樹子 (外丸田)

長野県
堀金村

一度だけの登山経験

堀金村は、松本市の隣北アルプスを背にした村で、俗に安曇野と呼ばれている一帯にあります。感じとしては、田んぼが広がっていて、河内と似ています。違うところは、こちらは山に囲まれていないところでしょうか。北アルプスを背にしているといっても、雪はそれほど降りませんが、寒さは厳しいです。例えば、

高速道路などいつも渋滞していて、夜中じゃないとスムーズに走れないほどです。こちらに住んで三年ほどたちますが、人口が少ないぶん、行政に声が届くのが速いのはいいですね。また、河内町にも、何か全国に誇れるもの、だれもが、茨城の河内だと分かるようなものがあればいいですね。



友達と頂上まで何歩あるか、数えたことがありました。何歩あったか、もう忘れてしまいました。そんなことをしながら登ったことを覚えていてます。

古里に帰るのは、年に一回くらいですが、帰るとやはりホッとします。でも、最近、安曇野一帯が観光地化されたんでしょうか、

お茶の 間

北尾 君光 画伯

絵との出会いは、中学生のとき、利根川の風景をかきに旅の絵かきさんが当時の長竿中学校に来て、私たちに絵の指導をして下さったんです。その時、私の絵を見て、「この子は才能があるね」って言うんです。そういう一言って、子どもを励ますんですね。もしかしたら、あの一言が私を絵かきにさせたんじゃないでしょうか。

でも、どうしても画家になりたとか、そういうことはありませんでした。気が付いたら、絵かきになっていたというか、今でも、自分は本当に絵かきなんだろうかって思うことがあります。ただ、高校を卒業したころから、絵筆を使っ



本名 北尾きみ(旧姓 田中)、長竿出身。町制施行を記念して、日本画3点を町に寄贈。

絵は生まれてくる 子どもたちへのメッセージ

た仕事をしたという気持ちはありました。

絵をかくということは、何かを生み出すこと、芸術とは真実の探求ですから、大変なことも苦しいこともありませけれど、自分の好きなことをしているわけですから、苦しいとは思ったことはありません。むしろ、その苦しみが自分を大きくしてくれる、その苦しみのおかげで今の自分があると考えると、その苦しみを、もっと頂いてもいいかなと思います。

河内町には、二十歳くらいまで住んでいました。河内町は、東京にも国際空港にも近く、立地条件は非常にいいですね。しかし、これからも、河内町が新利根川と利根川の豊かな水に恵まれた、自然も人の心も汚れていない町であってほしいですね。そして、これから生まれてくる子どもたちに、この財産を残してあげたいと思いますし、そうでありたいです。

ですから、私のかいている絵も、これから生まれてくる子どもたちへのメッセージというか、プレゼントなんです。そういうメッセージを送り続けたいと思う気持ちで、私に絵をかかせるエネルギーになっているんじゃないでしょうか。

はいく

かわち俳句会

ほろり落ち又ほろり落つ柿の花
山寺の段々坂や梅雨に入る
植込に鉄の音や夏帽子
梅雨晴間ただ黙々と草筆る
湯上りの香りのこして夕端居
梅雨晴に物干竿のゆみなりに
思いきり髪切りつめて梅雨の夜
尾瀬の道それぞれの色夏帽子
職やめて七曜もなき朝寝かな
伝統をかなぐり捨てて梅雨の朝
梅雨晴間園児黄ぼうれし列つづく
梅雨の傘傾けあつて会釈せり
梅雨晴間光りすべらす野ぐさかな
置き場所を替へて忘れて日暮かな
梅雨あけて野は青々と人見えず
家々に大樹を持ちて里若葉
流れ雲川にうつりし花菖蒲
稚若葉いつも見えてる母生家
理由もなく心経洩らす額の花
花菖蒲見事な嬰の欠伸かな
夏帽子森林浴の行き帰り
耕してかわきやすさよ青嵐
くちなしの花の白さやナース服

鴻野 三郎
神崎 迪太郎
津根 としお
平川 和楓
鴻野 たけ
中山 千代
本橋 澄江
吉田 四郎
四月朔日 四郎
大関 さと
篠本 しげる
山本 かつ
田中 白茅
小島 とし
大野 四郎
岡田 みつ
大森 つや
鈴木 桐葉
飯塚 まさよし
鈴木 秋月
沼崎 まさ子
大塚 一重
石井 一江



河内旋風 吹き荒れる

— 河内サッカー少年団
連続優勝飾る —

3月に優勝したJ Cカップ大会に続き、河内サッカー少年団は、5月24・25日に10チームが参加して行われた、ライオンズクラブ旗争奪少年サッカー大会でも優勝を成し遂げた。

また、5月22・23日に11チームが参加して行われた、平成8年度稲北リーグ前期大会においても低学年の部で優勝と、河内旋風は吹き止まない様子。

ズーム アップ。



六月十四日に生板、七月六日に源清田の小学校で交通安全教室が開催された。
これは、夏休みを前に、もう一度正しい交通ルールを身に付けようと実施されたもので、竜ヶ崎警察署の交通巡視員の説明や指導を受け、自転車の安全な乗り方などを勉強した。

自転車の安全な 乗り方を勉強



第49回稲敷地方体育大会が六月九日、郡内八町村が参加して、それぞれの会場で行われ、阿見町が総合優勝に輝いていた。
相撲と卓球が競技会場になった当町は、十種目に参加し、弓道で二位、バスケットボール（男子）とソフトボール（男子）で三位に入賞した。

稲敷地方体育 大会開かれる

戸籍の窓

5・6月届出分(敬称略)

おめでた

赤ちゃ	保護者	地区
友貴	久夫	野川
樹紗	典芳	津島
未菜	山井	江津
佑	高荒	納津
	西内	組
	藤野	村井
	浅崎	野川
	柴澤	戸納
	小	川川
	石井	子通
	田中	川
	菅沼	橋
	飯島	野
	高藤	鳥
	大野	野
	大羽	岡
	岡岩	橋

おくやみ

氏名	年齢	地区
藤恒三	74	竜丁歩
藤音次郎	85	上金江津
爪崎み	81	上金江津
茨城ケイ	77	四ツ家組
本多庄造	92	下加井田
白沢清	49	外丸江津
古川瀬	73	和銅子
川瀬つむぎ	48	和銅子
鈴木崎村	88	和銅子
野村山	83	和銅子
高田一	87	和銅子
太田榮	82	和銅子
高内橋	86	和銅子
内田志	85	和銅子
内田は	82	和銅子



七月一日、長竿・中郷地区にある長竿浅間神社では、子どもたちの健やかな成長を願う初山参りの行事が行われた。

健やかな成長を願って

善意のご寄付

河内町たばこ販売組合 様
町社協へ 12,000円
上金江津子ども会 様
町社協へ 10,340円
カスミコンビニエンスネットワークス河内堀割店 様
(あゆみの箱募金)
町社協へ 11,000円
宵待会 様
(宵待草杯チャリティーゴルフ収益金)
町社協へ 71,000円

スポーツ大会

町制施行記念チャリティーゴルフ大会
・優勝 大野 和己
・準優勝 橋爪 正
・三位 岡野 正
・ベストグロス 宮本 正

6月

町長の動き

- 1日(土)町制施行記念式典
- 2日(日)町制施行記念イベント
- 3日(月)江戸崎農業改良普及事業推進協議会総会、日本モンサント佐藤所長来庁
- 4日(火)庁議
- 5日(水)県出先機関の長との懇談会、議会運営委員会
- 6日(木)町村会行政視察(18日)
- 9日(日)稲敷地方大会
- 10日(月)食生活改善推進員連絡協議会総会
- 11日(火)民協定例会
- 12日(水)中山利生氏夫人本葬
- 13日(木)町民ゴルフ大会、稲敷消防激励会
- 14日(金)稲広事務組合水防協議会、入札
- 16日(日)交通安全母の会移動総会
- 17日(月)議会(21日)
- 18日(火)文化財・民俗資料調査員合同会議、行政改革推進委員会、農協との意見交流会
- 19日(水)安全協会総会
- 20日(木)竜ヶ崎地区交通安全母の会総会、体育協会長連絡協議会総会
- 21日(金)議員海外研修壮行会
- 23日(日)遺族会壮年部総会(24日)
- 26日(水)郡町村議会議員海外研修見送り
- 27日(木)入札
- 28日(金)統計協会竜ヶ崎支部会計監査、印西市長市葬
- 30日(日)消防幹部研修(7月1日)

河内町職員募集

河内町では、平成九年度職員採用の試験を次のとおり実施します。



○試験区分・採用予定人員

試験区分	採用予定人員	職務内容
事務	若干名	本庁又は出先機関で一般事務に従事

○受験資格

次の(一)に該当し、(二)の欠格事項のいずれにも該当しない者であれば受験できます。

(一)年齢・資格等

ア昭和四十五年四月二日以降に生まれた者で、高等学校卒業程度の学力のある者

イ昭和四十一年四月二日以降に生まれた、土木施工

管理技士等の資格取得者(見込みの者を含む)

ウ身体障害者手帳をお持ちの方で、概ね四十歳以下の

高等学校卒業程度の学力のある者

(二)欠格事項

ア日本国籍を有しない者

イ禁治産者および準禁治産者

ウ禁固以上の刑に処せられ、その執行を受けることがなくなるまでの者

エ日本国憲法またはその下に成立した政府を、暴力で破壊することを主張す

る政党、その他の団体を

結成し、またはこれに

加入した者

○試験の方法

試験は第一次、第二次試験

および身上調査です。

☆第一次試験

公務員として必要な一般的知識などについての筆記試験と作文

☆第二次試験

第一次試験の合格者に対し

面接による口述試験

○第一次試験日・試験会場

日時 九月二十二日(日)

会場 茨城大学

○受験手続き・受付締切日

総務課に用意してある申込用紙に必要事項を記入の上、八月七日までに提出してください。受付は、平日に限りです。

○問合せ

河内町役場総務課

☎ 八四一二一一

(内線二二二)

「ふみの日」

手紙コンクール

作品募集

郵政省では、「ふみの日」手紙コンクールの作品を次のとおり募集します。応募、問い合わせは、最寄りの郵便局までどうぞ。

はがき作文部門

小学生対象

募集期間：平成8年7月23日(火)～9月5日(木)

はがきを使用して、学校の先生・友人・親戚・家族等にあてた手紙文(和文)の作品を募集します。

絵手紙部門

小学生(幼児を含む)、中学生、高校生、一般対象

募集期間：平成8年7月23日(火)～9月5日(木)

はがきを使用して、自由なテーマで絵を書き、メッセージを添えた作品を募集します。



こっ そ しょう しょう

骨粗鬆症を防ぐ

「骨粗鬆症って何？」

骨粗鬆症とは、カルシウム不足から骨の密度が低くなり、大根に鬆が入ったようにスカスカになり、骨が折れやすくなる病気の事です。

高齢者で、腰が曲がったりしている方をよく見かけますが、これも骨粗鬆症が原因であることが多いのです。

しかし、骨は、毎日新しく生まれ変わっているため、少しずつ骨量を回復させることは可能です。

「骨粗鬆症に

ならないために」

カルシウムをたくさんとろう
人間の骨はカルシウムでできているわけですから、食生活の面からの予防としては、いかに多くのカルシウムをと

ビタミンDたっぷり食品ベスト5

1位 塩ざけ 70g
1,120



2位 にしん 1切れ70g
770



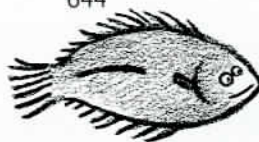
3位 むつ(生) 1切れ70g
672



4位 あんこう・きも 15g
660



5位 かれい(生) 1切れ
644



(「日本食品ビタミン成分表」から分量はおおよその1食分/単位:IU)

るにかかっています。カルシウムが吸収されやすいもののベスト3は、牛乳五三%、

小魚三八%、海藻三〇%です。なかでも海藻はそのまま食べるよりも、「酢のもの」にして食べたほうが、組織が壊れて、なかに含まれるカルシウムの吸収率は高まります。これからは、これらのものを多くとるようにしましょう。

ビタミンDをたっぷりとりとりにくいカルシウムを少しでも多く摂取するには、食べ物との組み合わせを考えるとが大事です。その代表格がビタミンDなのです。特におすすめしたいのが、「干し椎茸」です。太陽の光をたっぷり浴びていて、おいしいだけでなくビタミンDも多く含ま

れているのです。また、食事だけでなく日光浴もビタミンDの合成を促します。一日三〇品目のバランスのよい食事をしましょう

こまめに体を動かそう
適度な運動によって骨に負荷をかけると、カルシウムの吸着が促進されて丈夫な骨をつくる事が出来ます。

*日光浴をしよう
*アルコールを減らそう
*タバコは骨にも悪いので控えましょう

*ストレスを減らそう
☆早期発見・早期治療のため
検診を受けましょう☆
骨粗鬆症は近年、寝たきりの原因として問題化されています。

今年も「骨粗鬆症検診」が

〔骨粗鬆症検診〕

月 日	時 間	場 所	定 員
8月22日(木)	午前9:30~11:30	福祉センター	100名
	午後1:30~3:30	西共同利用施設	100名
8月23日(金)	午前9:30~11:30	保健センター	100名
	午後1:30~3:30	つつみ会館	100名

行われます。昨年は多くの方が受診されました。昨年受けられなかった方は、今年ぜひ受けられますことをお勧めします。

「骨粗鬆症検診」

対象者 十八歳以上の女性
検診方法 問診及び手指のレントゲン撮影

申込方法 保健センターまで
電話または直接窓口へ

☎八四一四四八六

受付期間 七月三十一日まで
(定員になり次第受付終了)

料 金 一、〇〇〇円

日程については、表を参照して下さい。

ガイド

役 場 ㊟2 1 1 1
水 道 課 ㊟2 3 6 1
つつみ会館 ㊟6 3 7 4 0

保健センター ㊟4 4 8 6
学校教育課 ㊟4 3 3 2 2
生涯学習課 ㊟4 2 8 4 3
(中央公民館)
給食センター ㊟4 2 8 4 5
福祉センター ㊟4 3 6 9 9

て日曜日から土曜日

- 講習会場 土浦市内の施設
- 申込期限 8月20日まで
- 問合せ先 民生課まで
内線 161

茨城県警察官(男子・婦人)

警察官)採用試験

茨城県警察では、平成8年度の警察官B(高校卒業程度)採用試験を、次のとおり実施します。

■受験資格

昭和42年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた者

■試験日

第1次試験 9月16日

■申込期限

8月27日まで

■問合せ先

竜ヶ崎警察署まで
☎ 62-0110

陸・海・空・自衛官

採用試験

防衛庁では、次のとおり平成8年度自衛官採用試験を実施します。

■種 目

航空学生(海・空)

- ・応募資格 高卒以上21歳未満
- ・1次試験 9月23日

一般曹候補生

- ・応募資格 18歳以上24歳未満
- ・1次試験 9月16日

曹候補士

- ・応募資格 18歳以上27歳未満
- ・1次試験 9月16日

■申込期限

9月9日まで

■問合せ先

竜ヶ崎募集事務所
☎ 64-3351

その他

渋滞や高速道路、身近な

道についてあなたの意見を

私たちの暮らしを、毎日支えている道。その道の造り方について、これまで、私たちが意見を言う場は限られていました。

そこで、建設省の諮問機関である道路審議会では、「21世紀のまちを考える委員会」を設け、これからの道づくりについて広く意見や提案を求めています。このため、提案の方法などを紹介した「キックオフ・レポート」を希望する方に差し上げます。

渋滞や高速道路、身近な道などについて、自由な意見、提案をお寄せください。

■問合せ先

建設省常陸工事事務所
☎ 029 (243) 5135

休日診療

◇江戸崎地区(市外局番0298)

【7月】

28日 池延医院 87-2070

【8月】

4日 坂本(美)医院 92-2627

11日 坂本(隆)医院 92-2232

18日 矢野医院 92-2127

25日 和田医院 94-2412

◇竜ヶ崎地区

*上段が内科、下段が外科です。

【7月】

28日 山本医院 66-3348

中村クリニック 64-6655

【8月】

4日 兼子内科 64-3105

さくらクリニック 65-1211

11日 細井クリニック 66-2000

朝野医院 62-0178

13日 福岡小児科医院 66-3245

菊地整形外科 64-6111

14日 池田病院 64-1152

五十嵐産婦人科病院 62-0936

15日 秋山診療所 64-1651

牛尾外科 66-6111

18日 村井内科小児科医院 62-3380

西新道外科医院 62-0855

25日 根本医院 62-3155

野村病院 62-6561

*診療を受ける際は必ず電話で確かめてください。

'96 8月のゴミ収集カレンダー

資 源 回 収 日		燃えないゴミ収集日	
A地区	13、27	A地区	} 22
B地区	14、28	B地区	
C地区	1、15、29	C地区	
D地区	6、20	D地区	} 8
E地区	7、21	E地区	
燃えるゴミの収集日		粗大ゴミの予約収集日	
A地区	毎週月曜日と金曜日	全地区	
B地区		■8月中に粗大ゴミの予約を された方は、9月7日に収 集します。	
C地区			
D地区			
E地区			
■問合せ 都市計画課環境衛生係		☎84-2111 内線155、156	



7月の納税

- ◇ 固定資産税 2期 ◇
- ◇ 国民年金保険料 4期 ◇
- ◇ 牛久沼土地改良区費 2期 ◇

徴収日は、7月31日です。

生活

屋外広告物は

許可を受けて

まちの中には、さまざまな情報を提供してくれる広告物がたくさんあります。しかし、無秩序に設置されてしまうと、まちの美観を損ねてしまいます。

そのため、屋外広告物を設置するには、許可を受けなければなりません。

〈屋外広告物とは〉

屋外で、一定の期間続けて表示される広告物で、看板、はり紙、広告塔などです。

〈県条例で規制〉

美観の維持と危害防止のため、屋外広告物については、設置場所や大きさなどについて、県条例で

規制しています。例えば、禁止区域、許可区域、禁止物件というようにです。

〈屋外広告業の方へ〉

屋外広告業を営まれている方は、届け出が必要です。また、営業所ごとに、知事が行う講習会の受講者を置くことになっています。

■問合せ先 建設課まで
内線 151

国民年金保険料の

免除制度について

経済的な事情などで、保険料を納めることができないときは、保険料が免除されることがあります。

〈保険料の追納制度〉

免除された期間の保険料は、10年以内であれば、さかのぼって追納できます。ただし、免除された当時の保険料に、一定の率をかけた額を加算した金額になります。

〈保険料の前納〉

保険料は、前納することができます。前納する保険料の額は、前納期間に応じて割引されます。

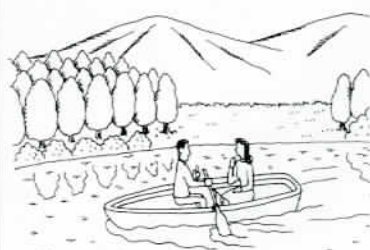
〈免除手続きは〉

免除手続きに必要なものは、印鑑、学生証（学生のみ）、世帯で収入のある方の源泉徴収票、または、確定申告書の写し（親元と別居の学生のみ）です。

■問合せ先 住民課まで
内線 183

森と湖に親しむ旬間

－7月21日～31日－



募集

排水設備主任技術者

資格試験

下水道協会茨城県支部では、平成8年度排水設備主任技術者資格試験を、次のとおり実施します。

■受験資格

- ・短期大学、または、高等専門学校を卒業し、1年以上下水道や水道工事の設計・施工について、実務経験のある者
- ・高校などを卒業し、3年以上下水道や水道工事の設計・施工について、実務経験のある者
- ・続けて、7年以上下水道や水道工事の設計・施工について、実務経験のある者

■試験日 11月26日

■受付期限 8月30日まで

■問合せ先 都市計画課まで
内線 152

介護ヘルパー3級課程

講習会

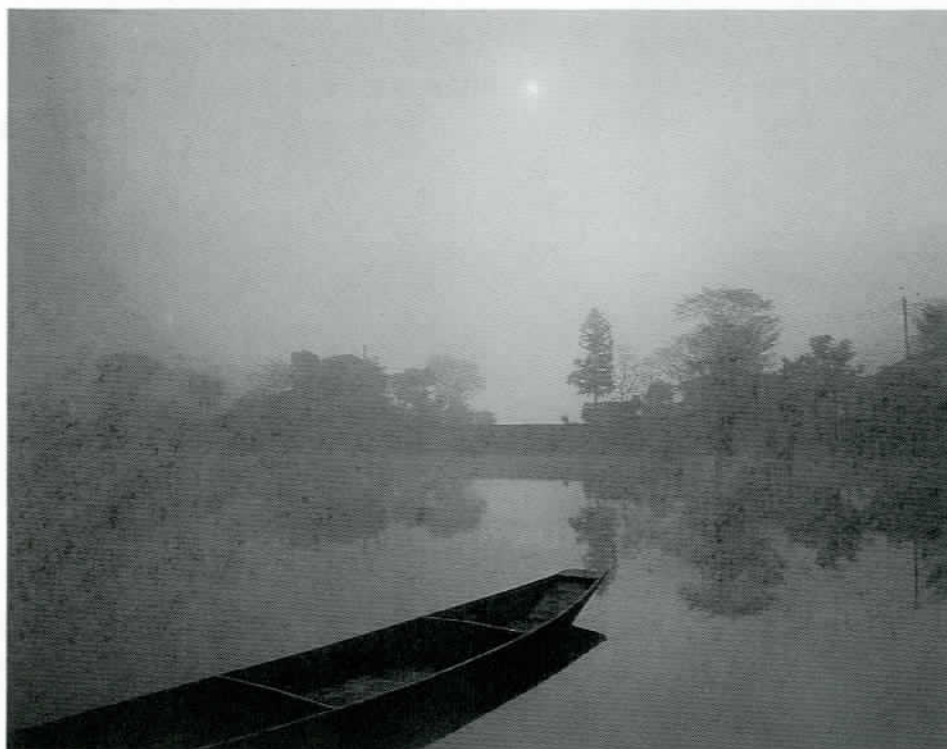
茨城県母子寡婦福祉連合会では、母子家庭や寡婦の就労援助対策の一助として、介護ヘルパー3級課程講習会を次のとおり実施します。受講料は無料で、交通費の補助があります。

■対象者 母子家庭の母、および寡婦

■講習期間 9月1日から12月15日までに8日間、ただし、すべ

町の人口と世帯

平成8年7月1日現在	
人口	12,149人 (+ 8)
男	5,994人 (+ 8)
女	6,155人 (0)
世帯数	3,119戸 (+ 3)



朝霧にけむる新利根川

遠い昔から、川は私たちの生活に、深いかわりを持ってきました。人々は、川の周りに集まり、様々な恩恵を受けてきました。そんな川だから、いつまでも大切にしたいものです。

■平成8年7月15日発行 ■編集 河内町秘書広聴課

〒300-13 茨城県稲敷郡河内町源清田1183

☎0297(84)2111